

令和8年度 目黒区立上目黒小学校 学校グランドデザイン

Research：各種調査等による実態

〔学校基本情報〕	〔児童の実態〕区平均との比較
・児童数 304名 ・学級数 12学級 ・教員数 16名	(1) 区学力調査：学年により差があるが、少しずつ学力が上がってきている。 (2) 四者評価：全12項目で85%の肯定的評価である。特に「心の教育」の設問に対する回答が98.6%（低）、93.5%（高）と高い。 (3) 体力調査：概ね区の平均値を満たしている。 (4) 令和7年度目黒中央中への進学率：約7割

〔保護者・地域の実態〕	〔40分学習・授業診断結果〕
・四者評価結果 保護者は、14項目中13項目で86%以上の肯定的な評価である。地域、PTAも学校に対して非常に協力的であり、地域や保護者と協働した教育活動が行えている。	学習用情報端末の活用、OJT研修等取組を進めてきてが、「学習が分かる」と回答する児童は低学年で増加傾向にある。

校長の経営方針

- 基本方針
 - ・学校・保護者・地域が協働で取り組む持続可能な学校づくりと教育活動の実践
 - ・生み出した時間、自己選択学習の時間（はかせタイム）により、学ぶことの楽しさを知り、自己調整力の育成を図る。
- 児童の学びと生活の質の向上
 - ・単元内自由進度学習、一部の教科による交換授業による「分かる授業」「魅力ある授業」の実現
 - ・学習用情報端末を生かした授業づくり
 - ・たてわり班活動を柱とした児童の豊かな心の育成

目指す児童像

- ～新たな創造・豊かな発想・温かな心～
- 考え表現する子
学習習慣を身に付け、学習に集中して取り組む。自分の考えをもち、友達と知恵を出し合いながら考える。
 - ◎ 認め合い協力する子
友達の気持ちを考え、互いに認め合い・協力しながら行動する。
 - 健康でたくましい子
健康な体づくりを考えながら運動に取り組める。

40分授業午前5時間制を生かすPDCA

〔指導の重点〕

- 学習指導
 - ・「分かる授業」「魅力ある授業」の実現（学年間交換授業、自由進度学習）
 - ・「はかせタイム」で自己調整力の育成を目指す。
- ONE TEAMで取り組む生活指導
 - ・生活指導夕会の活用と共通実践
 - ・関係各機関、専門機関との連携

生み出した時間としての取組〔教員の時間〕

- 学力向上委員会
 - ・校内OJTの企画・実施
 - ・校内公開授業の提案・実施
 - ・模範授業の実施
 - ・「はかせタイム」との往還
- 子どもたちと向き合う時間の創出のために
 - ・長期休業前後に事務作業期間を設定
 - ・会議の回数の削減と時間の短縮

P 計画

A 改善

D 実施

C 評価

はかせタイム

目的	自分が探求したいことを決め、調べ、発表する活動をととして、自己の学習を調整していく力を育てる。
対象	全学年
時間	年間20時間程度
内容	自分が探求したいことを自分で決め、調べたり、挑戦したりしながらテーマに迫っていく。学習の途中・最後に発表をし、学習をふりかえり、今後の学習について新たな目標を設定する。
備考	○テーマ設定の重視 ○教科、領域の学習との関連 ○教師の関わり方、「教育観」の転換

「はかせタイム」ガイダンスの様子



週時程表							
活動	時刻	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	特別時程
登校	8:05~8:15	登校					
朝の会	8:20~8:30	朝の会・朝の活動					
休み	9:10~9:15	休み時間（5分間）					
2校時	9:15~9:55						
休み	9:55~10:00	休み時間（5分間）					
3校時	10:00~10:40						
中休み	10:40~11:00	中休み（20分間）					
4校時	11:00~11:40						
休み	11:40~11:45	休み時間（5分間）					
5校時	11:45~12:25						給食 11:40~12:25
給食	12:25~13:10	給食					
清掃	13:10~13:25	帰りの会・簡単清掃	清掃	音楽委員会 体育委員会 13:20~13:40	清掃（清掃）	清掃	帰りの会 12:25~12:35
昼休み・昼の活動	13:30~13:45	全校集会	昼休み（帰りの会・下校13:40）	委員会（5年以上） クラブ（4年以上） 13:55~14:55	昼休み（帰りの会・下校13:40）	児童委員会（下校）	
6校時①	13:50~14:10			帰りの会 13:40~13:50			
6校時②	14:10~14:30						
6校時③	14:30~14:50						
帰りの会	14:50~15:00		帰りの会		帰りの会	帰りの会	
	15:10~15:35 16:20~16:35	部会議	部会議or 教材研究	職員会議 研修等	教材研究or OJT	学年会	校内研究

教員の指導力を高める時間

目的	個人で行う教材研究、テーマに応じて複数で学ぶOJTをととし、教育課題に合った教員の指導力を高める。
対象	全教員
時間	月から金 児童の下校後（適宜）
内容	自らの課題に沿った教材研究の時間に充てる。 また、ICTを効果的に使った授業づくり、体育における安全指導、単元内自由進度学習について等、本校における教育課題からテーマを設定し、全員で研究する時間とする。
備考	○互いの授業を見合ったり、教科研究をととして得た知見を共有し合ったりし、授業力を高める。

OJTスケジュール

	実施日	テーマ
第1回	月 日（ ）	【座談会】学級経営について
第2回	月 日（ ）	【研修会】ICTの活用（ロイロノート）
第3回	月 日（ ）	【研修会】体育実技（低学年：ボール遊び）
第4回	月 日（ ）	【座談会】算数の板書計画（低学年）
第5回	月 日（ ）	【座談会】学級事務運営について

各学年の時数内訳

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
標準授業時数	865	925	980	1015	1015	1015
上回る時数	0	0	0	0	0	0
学校裁量	58.5	40	46	47	53.5	53.5
行事時数	42	43.5	42.5	43	59	63.5
総時数	965.5	1008.5	1068.5	1120	1157.5	1162

各学年の週当たりコマ数

1年	2年	3年
25	25.5	28
4年	5年	6年
29	29.5	29.5

対象	評価指標	目標値
児童	目黒区学習状況調査	各教科達成率平均値 80%以上
	目黒区学習状況（意識）	「学校の授業は、よく分かりますか」肯定的回答平均値 90%以上
	パフォーマンステスト（英語）	評価平均値（5段階） 3.5以上
	四者評価	授業への満足度 肯定的回答平均値 90%以上
教員	教員40分授業診断	全項目平均値 3.5以上
	実態アンケート	「授業改善は図れたか」肯定的回答平均値 90%以上
保護者	四者評価	「教育活動に関する満足度」「学習に対する満足度」「生活指導に対する満足度」90%以上